



日曜大祭日 依 日曜大祭日 依 日曜大祭日 依

錦殿更に錦を飾つて

櫻花期を美装する平

五十名をすくめる美妓の手踊

花は來月十日頃から咲かう

東北隨一が誇張でも何んでの花見期は是れだけで相
もない平町松ヶ岡の櫻、全當の人氣を呼ぶに相違なく
園花を以て包む千樹に續花の盛りには素晴らしい景
いて尼子公園の裾から延々氣を見るであらうと
數町に連なる新川土手
共に自慢の

美事さで逐年遠方

から觀櫻客を増加し花期の
同町は眞に遊山の人に埋ま
る賑ひであるが愈よ其の期
を控いた前氣の盛んなこ
とは既報の如く本年最初の
催しとして

催しとして

の手踊は去十五日午後組合
の臨時總會に於て奉仕の出
演を満場一致で可決され園
内ときわ草前の葛蒲畑に
大池を臨んで建つ掛舞台の
登演美妓五十名をすくむ花
鏡ぶ四月十二日に

初手を

ふくして
五、六、七、八、九の六日
尚書後四回づつ出し物は
左記の如く選まれた紅裙連
は昨十六日から新町町品澤
家及び眞砂の家兩

女將の

彩へた腕に
熱心なる稽古中である今年
ける各驛長助並に機關車

長會は今十七日午前十時半
から半驛樓上に開催運轉業
務諸般に就て打合せなした

種牡馬の

飼養優良

石城産馬で受

賞する十五名

石城産馬畜産組合に於ける
馬匹獎勵の牝馬検査成績は
昨報したが尙ほ種牡馬の飼
養管理に對する成績優良を
以て受賞するもの左記の如
く四年度供用の新種牡馬は
第一區に於ける縣有一頭及
び個人有一頭並に第四區
の縣有一頭を合計する三頭
と國有派遣種牡馬は澤渡、
上遠野、田人の三ヶ所に五
頭である

恐るべき馬匹の傳貧

獸醫の所有馬に發生

本年は石城郡に於て十一頭

石城産馬畜産組合では馬の
傳染性貧血病に對し深き注
意を拂つてゐるが本年に遠
入つて最近また、田人村
大字旅人獸醫榎田勇氏所有
の馬匹に同病の

發生を

發見された
ので一般飼養者に非常な恐
怖を以て警戒されてゐる同
郡に於ける昨年中の傳貧馬
發生は合計十一頭で多くは
夏期の傳染が冬期間の

健康馬

へ此蠅の媒
介によるもの多く尙ほ近年
同病馬としての發生を上げ
られることが比較的少なく
つたのは診療が嚴格になつ
た關係もあり其結果として
從來の様な斃死馬が非常に
少なくなつてゐると

輪村片寄秀治、内アングは目下平暮の取調中
ロノルマン(縣有)入遠野
村折笠吉次郎、内國産洋
種(組合有)永戸村合津功
同種(同)三坂村大竹隆隆
雜種縣有川前村田中平次
郎同種(個人有)上小川村
草野寅吉(以上)

路傍の幼児を

轢殺する

昨十六日飯野

村の谷川瀬で

平町鈴木自動車部の乗合車
運轉手加賀藏之助(三)が去
十六日午後二時頃同郡飯野
村の谷川瀬内國道を操縦
疾驅の際附近に何氣なく遊
戯中の同地利之の長男小野
幸一(五)を自動車の下敷き
となして即死せしめ藏之助
幸一(五)を自動車の下敷き
となして即死せしめ藏之助
幸一(五)を自動車の下敷き
となして即死せしめ藏之助

無一文で飲食

石城郡湯本町の飲食店郡司
清方に於て去十四日夜所持
金ある如く装ひ飲食の上無
一文と云ふので訴へられ平
署に檢舉されたが同人は岩
手縣武藏郡中郷村生れ佐藤
一男(三)と自稱してゐる

磐城高女の

卒業式

優等生六名に
無欠席廿五名

縣立磐城高女の第十九回卒
業式は既報の如く明十八日
午前十時に舉行の筈である
が本年卒業生百九十名の中
優等の榮を獲たるもの六名
四ヶ年間無欠席の精勤者は
廿五名で氏名を上ぐれば左
記の如くである

優等生安島つや(勿來)
瀧美晴子(埼玉縣)木村
に子(大野)鯨岡孝子(湯
本千葉ふみ(平)和田しづ
子(相馬郡)
▲四ヶ年間無欠席生遠藤
きよ子(双葉)大原あや
(同)落合きみ(茨城縣)片
寄よし(大浦)小林歌子
(勿來)佐竹富美子(宮城
縣)佐藤つや子(平)鈴木喜
代子(川部)鈴木大(小名
濱)鈴木千代子(平窪)大
樂しま子(平)高瀬たに
(内郷)高野美知(平)田村
若菜(同)新妻喜美(大浦)
平口節子(茨城縣)星たみ
子(錦)木多喜美子(渡邊)
松崎はつえ(田城郡)三森
みよ(平)村上まさ(同)柳
井文子(双葉郡)矢内美穂

(同)矢部松(平)吉江ゆき
の(夏井)
▲一般卒業生赤津浦子、
阿部輝子、阿部りさ、安
部貞、有吉清江、安藤光
飯田かつ、五十嵐操、猪
狩きくよ、猪狩ひで、石
川よしえ、石川喜久江、
石山よし、植頭節、梅
原敏子、海野たね子、江
尻なほ、江尻まさ、江島
秀子、遠藤眞佐子、大越
はつえ、大島道子、大須
賀こう、大谷とし、大原
八重、大平きみ、大平せ
ん、大平みよ、岡田貞枝
岡田瑞枝、緒形禮子、岡
村喜代子、岡村はな、小
野梅、小野きみ、小野た
ま、小野つる、小野まさ
る、小野やす、加藤愛子
金成文子、神長倉よしの
金田たけ、神谷さち、鴨
文字、川津すみ、川角さ
と、菅野牧、菊地まさ、
木田愛子、北郷やす、清
見せい、草野うめ、草野
はな子、草野晴子、鯨岡
きせ、楠浦子、國非ふみ
慶元房、原城幸子、倉兼
ふき、兒玉智恵、木幡榮
枝、匠野よし、齋藤とし
佐川千代子、佐川ひさの
作山はるの、佐藤孝子、
佐藤富美子、佐藤はる子
佐藤みね子、佐藤よし、
四家孝、四家さい、宇石
明、篠崎とみ、篠原てる
下山田ひで、白土はるゐ
鈴木うた子、鈴木静江、
鈴木須美子、鈴木節子、
鈴木富子、鈴木智恵子、
鈴木とら、鈴木はる、鈴

猪狩家の計

平署刑罰課勤務猪狩勇次郎
氏のなみ(三)夫人は数日前
男子分婉後の當夜から經過
男子思はしからず醫務に手を盡
してゐたが嬰兒は昨十六日
死亡引續いて今十七日午後
一時過ぎ同夫人も遂に逝去
したので重ねての不幸に
同家は氣の毒な悲傷に陥つ
てゐる

木ひさ子、鈴木文子、鈴
木美枝子、鈴木光子、鈴
木米子、須藤富、須藤雪
江、關根ふじの、高木昌
子、高久昌子、高萩恭子
高萩春枝、瀧上いし、立
花斐子、田中ちづ子、田
中ちよ子、丹野千利世、
千葉ちよの、堤綾子、遠
山いね子、仲田やすえ、
中村とし、中村まつ、中
山千代子、永井節、長瀬
速子、永山敏子、西原は
る、西牧みつ、根本艶子
根子てる、野口みどり、
羽賀なみ子、芳賀正子、
箱崎あけ子、橋本榮子、
橋本みい、橋本三三子、
橋谷田満子、長谷川すま
子、長谷川清子、秦たけ
比佐よし子、本多とし、
前田みち子、松本い、
松本みわ、馬目淺子、馬
目ちよ、水野たきよ、水
野ふさ、皆川みつ、三森
道、山縣みつえ、山名た
い、山野はるの、矢吹玉
子、山下りん子、山本せ
い、山本泉子、吉田安子
吉野常子、吉野みえ子、
若松君江、渡邊志佐子、渡
邊せき、弓野みよ(以上)



鯉の養殖 (一)

流水養鯉法
 鯉の養殖は近年石城地方にも相當行はれて稻田の飼養なども試みられてゐるが方法によつて不利なものではない、池の水を河永の様に流しつゝ養鯉する流水養鯉法に就て述べて見よう、此の方法は小面積の中に多くの放養をなし得るもので一日に數十回の投餌を行ふ集約的な飼養法であつて場所を選ぶ際の注意としては、河川小溝から適當な引水の便があり地形は相當の傾斜を有して細長く河川小溝に沿ふ十坪乃至二十坪の養魚池を築造した場合は排水共に工合よく行はれる所であるが池に注入する自然的にも人為的にも断水しないところになければならぬ之れ等の流水は多くは灌溉用水である關係上種々の事情から一時断水を餘儀なくされる場合があるから其處に意を怠らず注水を仰ぐ河川小溝の上流に有毒物質を注加するか否かを注意し餌料としては種鯉放後暫くは大麥小麥等の虫喰でも残物でもよい廉いものを利用し生長の旺盛な夏季には動物性の蠶繭牛豚の臓物、みず等を容易に與へられる便宜が必要である

スペイン G.H.N 元詰
 甘味葡萄酒
 ゴルフポートワイン
 ¥ 1.10
 御婦人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳良です
 (平二)西村屋薬舗 (電三)

平町
 外科 小児科 梅毒 淋病
市原醫院
 電話一四一四番

平町
藤沼醫院
 電話七〇五番

アゲイン
 幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ
肺病、肋膜炎、肺炎、カタル等
 定價(二圓、四圓、六圓)
 平町五丁目角
 特約店 山野邊藥局

豫告
 櫻花假裝廣告 大懸賞
 ウィンド裝飾
 期日四月十二日(日曜日)
 詳細はいはき新報ニテ發表
 主催 いはき新報社
 高木 役場
 平町 新聞社
 磐城 新聞社
 新いわき新聞社
 磐城 時報社
 常磐 毎日新聞社

表代城磐
 酒銘
味経美
 油醬のヤマ
 社會名合崎山
 番十話電

磐城佑賢學舎生徒募集
 一本 科 入高等科卒業程度の男女
 一普通 科 尋常科卒業程度以上の男女
 一新設 農産科 高等科卒業程度の男女
 一、右各科共に入學試験は行はず
 願書受付順に入學を許可す
 一、新學期開始 四月六日
 一、詳細は却則書請求のこと
 昭和六年三月
 平町六間門廿番地 (電話九三番)
磐城佑賢學舎

模範 裁縫
高島屋の洋服
 平町驛前 電話三八六番
 既製部
 オーバー 五圓から
 卅圓まで
 二重廻し 七圓以上
注文部は各種破格の勉強

第廿 生徒募集
 一、卒業は産婆看護婦科を通じて一ケ年
 一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上の學力ある者へ無試験入學を許す
 一、申込期日 四月八日迄
平南町
 電話三〇七番
平産婆學校
 校長 清野キキ

笠間稻荷神社
 團體募集
 期日 昭和六年三月廿六日(舊二月八日) 午前五時南町丸昌ホール集合 同日正六時出發
 道程 自動車往復 笠間神社參拜祈禱 歸途 磯原大洗神社 明治記念館參拜 魚菜庵ニテ中食 村松山虚空藏會參詣、同日歸平解散
 會費 金四圓廿錢也(即納ノ事)
 申込日 三月廿日迄トス
笠間神社參詣團體申込所
 電話四二九番
 後援 いはき新聞平支局

吾等のサロン
 高いと云ふ噂があります
 安からう
 悪からう
 一番ウマイと云ふ自信があります
平田町 サロン
 電話三五二番

平南町
 電話三〇七番
平産婆學校
 校長 清野キキ